

「安全上のご注意」

必ずお守りください

この「安全上のご注意」と別冊の取扱説明書および保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表紙内容を無視して誤った使い方をした時生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

アフターサービスや修理などについておわかりにならないときは、お買い上げの販売店または工事施工業者にお問い合わせください。
連絡先がご不明の場合は、保証書に記載されているところへお問い合わせください。

この説明書と同梱の取扱説明書および保証書を必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

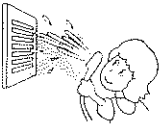


分解禁止

■絶対に分解したり修理・改造しない
発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
修理は販売店へご相談ください。



禁止



■本体各部に直接水やお湯、
かび取り剤などをかけない
ショートや感電の恐れがあります。



■メタルラス、ワイヤラス、または金属板
張りの木造建築物に金属製ダクトを貫通
する場合、メタルラス、ワイヤラス、
金属板と接触しないように取り付ける
(電気設備技術基準第182条)
漏電した場合、火災の原因となります。



禁止

■内釜式風呂を設置した浴室に取り付け
ない
排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を
起こすことがあります。



アース線接続

■アースを確実に取り付ける
(アース付きの機種)
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。



■電源プラグにほこりが付着している
場合は、よく拭きとる
(電源プラグ付の機種)

ほこりがついたままだと、火災の原因になり
ます



電源プラグ
を抜く

■お手入れの際は、電源プラグをコン
セントから抜く(電源プラグ付の機種)
(ぬれ手で抜き差ししない)
感電やけがをすることがあります。



■お手入れの際は、電源スイッ
チを切る
(ぬれ手で切/入しない)
感電やけがをすることがあります。



注意



禁止

■交流100ボルト以外で使用しない
火災・感電の原因となります。



電源プラグ
を抜く

■長時間使用しないときは、電源プラグを
コンセントから抜く
(電源プラグ付きの機種)
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



禁止

■電源コードを引っ張って
プラグを抜かない
(電源プラグ付きの機種)
プラグを持って抜かないとコードが傷み、
ショートや発火することがあります。



■配線工事は、電気設備技術基準や内線
規定に従って、確実にを行う
誤った配線工事は、漏電、感電や火災の恐れが
あります。



■本体は、十分強度のあるところにしっか
り取り付ける
落下により、けがをすることがあります。



■部品は確実に取り付ける
落下により、けがをすることがあります。



禁止

■浴室に壁スイッチを設けない
湿気により、感電することがあります。



禁止

■炎があたる恐れのある場所には
取り付けない
(台所用以外の機種)
プラスチック部品が変形したり、着火
して火災となる恐れがあります。



接触禁止

■運転中は羽根の中に指や物をいれない
けがの恐れがあります。



水場使用禁止

■浴室などの湿気の多いところに取り
付けない(浴室用以外の機種)
感電や故障の原因となります。



禁止

■天井には取り付けない
(壁取付専用の機種)
落下により、けがをすることがあります。



禁止

■高温になる場所には取付けない
故障の原因やモーターの寿命を早めます。
(周囲温度40℃以下)



禁止

■本体は断熱材等で覆わない。
漏電や故障の原因となります。



■接続端子に電源コードの芯線を確実
に差し込む(接続端子付きの機種)
誤った配線は、漏電、感電や火災の恐れがあります。



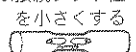
■引きひもはゆっくり確実に引く
故障や感電の原因となります。



禁止

■次のようなダクトの配管工事はしない
故障の原因となります。

- (1)極端な曲げ (2)多数回の曲げ (3)接続ダクト径を小さくする



(4)壁埋込パイプ
を室内に傾斜
させる



(室内側)



(5)吐出口のすぐ
そばでの曲げ

